

宝探し（焼青ビンゴ）

1 宝探しとは

エリアの中に点在する宝（ポイント）を決められた時間内に多く見つける活動です。宝（ポイント）には、数字や魚、地名が記されており、注意深く探さないと見つからないような場所に設置されています。

また、雨天時でも館内で実施することができるので、使いやすいプログラムとなっています。
宝（ポイント）は以下のようなものです。



2 ねらい

- ・ 宝（ポイント）を探す活動をとおして、周囲の状況を注意深くつかむことができる。
- ・ 注意事項を守ることにより、安全に対する意識を高める。
- ・ 施設周辺での活動により、施設に慣れ、その後の落ち着いた活動につなげることができる。

3 人数と所要時間

- (1) 人数：1グループあたり、6人以下が望ましい。
- (2) 所要時間：1～2時間程度、活動時間に合わせてエリアを縮小することも可能。

4 活動場所

- ・ 焼津青少年の家周辺、または館内。

5 実施方法

【事前】

- ・ 実施計画表を基に運営方法やグループを決めておく。
- ・ 下見を実施し、活動エリア・使用する道具の確認をする。

【当日】

- ・ 活動前に事務室で実施判断を行う。
(午前の活動の場合は午前8時35分、午後の活動の場合は午後0時30分)
- ・ 実施判断を行った後、活動の流れや団体指導者の配置などを所員と確認し、バインダー、解答用紙を受け取る。

【活動前】

- ・ 団体指導者は研修生に対して、ルールと注意事項を説明し、活動を開始する。

【活動終了後】

- ・ 団体指導者は、成績発表や講評などの事後指導を行い、終了したことを所員に報告し、貸出し用具を返却する。

6 計画・実施上の留意事項

- (1) 研修生がエリア外に出ないように、団体指導者を配置するなどの安全体制を整える。
(実施計画表を活用してください。)
- (2) 団体の人数が多い場合は、時間差でのスタートやスタート場所を複数にすることもできる。

7 研修生の活動の流れ

- (1) 団体指導者からルール等説明を聞き、決められたエリア内の宝（ポイント）をグループで探し、探した宝（ポイント）に記された魚や生き物の名前、地名を解答用紙に書き込む。
- (2) 指定した時間までにゴール場所に行き、団体指導者に答え合わせしてもらって成績を確認する。

8 安全のための注意事項

- (1) エリア内にはマレットゴルフのホールや切り株があるので足下に気をつけて探す。
- (2) 蚊や蜂がいる場合もあるので、事前指導や対策をしておく。
- (3) まれにガラス瓶など危険物が落ちていることがあるので、見つけた場合には触らない。
- (4) グループは常に一緒に行動し、木に登る、堤防を越える、道路に出る、民家に入ることはしない。

9 館内での宝探しについて

館内の廊下、階段等の公共スペースに50個のポイントを掲示してあります。実施方法は、屋外版と同じですが、館内のため他団体への配慮が必要となり、少人数での活動、短時間の活動、雨天時の代替案、館内探検や環境への慣れなどの目的で御利用ください。

やいせい 焼青ビンゴについて ※宝探しの変形版

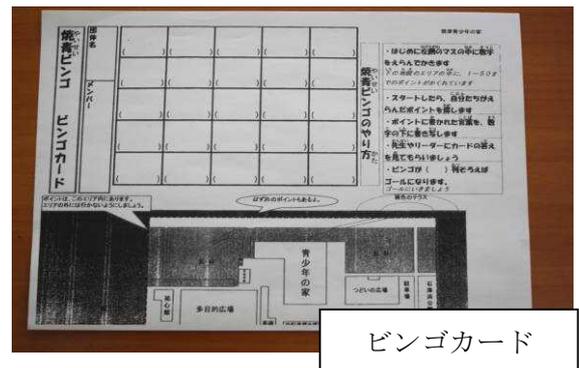
焼青ビンゴとは・・・ビンゴカードに書いた数字の宝（ポイント）を見つけ、見つけた宝でビンゴを達成していくゲームです。

1 進め方

- (1) グループで5列×5列のビンゴカードに1～50までの好きな『数字』を書き込む。
- (2) 決められたエリア内で記入した『数字』の書いてある宝を探し、その宝に記された『魚、地名』を『数字』の下の（ ）に書き込む。
- (3) 団体指導者に採点してもらい、正しければ○をつけてもらう。○が縦、横、斜めの1列が揃ったら1ビンゴとなる。

2 ゴールの仕方

- パターン1 3ビンゴを早く達成したグループが勝ち。
1ビンゴごとと正答の確認をしても良い。
- パターン2 制限時間内にできるだけ多く答えを見つけ、終了後、団体指導者が全グループのビンゴカードを採点し、多くビンゴを達成したグループが勝ち。



その他運営方法・注意事項などは宝探しと同様です。

宝探し実施計画表

静岡県立焼津青少年の家

団体名				
担当者氏名				
実施予定日	年 月 日 ()			
参加者人数	研修生	人	団体指導者	人
活動時間	開始時刻	:	終了時刻	:

1 実施予定エリア

エリア (予定エリアに○をつける)	グループ構成
①中央エリアのみ ②中央・北エリア	例 5人班×5、6人班×6 計11班
	① ()人班×()
③中央・南エリア ④南・中央・北エリア	② ()人班×() 計()班

2 団体指導者の配置 ※人数や配置の有無は、各団体で決めてください。

団体指導者の役割	団体指導者氏名
本部待機	
巡回	

3 安全体制チェックポイント (確認・実施したのみに○をつけてください。)

1. 実施予定エリアの下見を行った。	
2. けがや道に迷った時などの緊急時の対応を決め、事前に研修生に指導した。	
3. 指定エリアや入ってはいけない場所を事前に指導した。	
4. 団体指導者間の役割分担が明確になっている。	

※未確認、未実施の項目については、当日までに必ず確認・実施してください。